

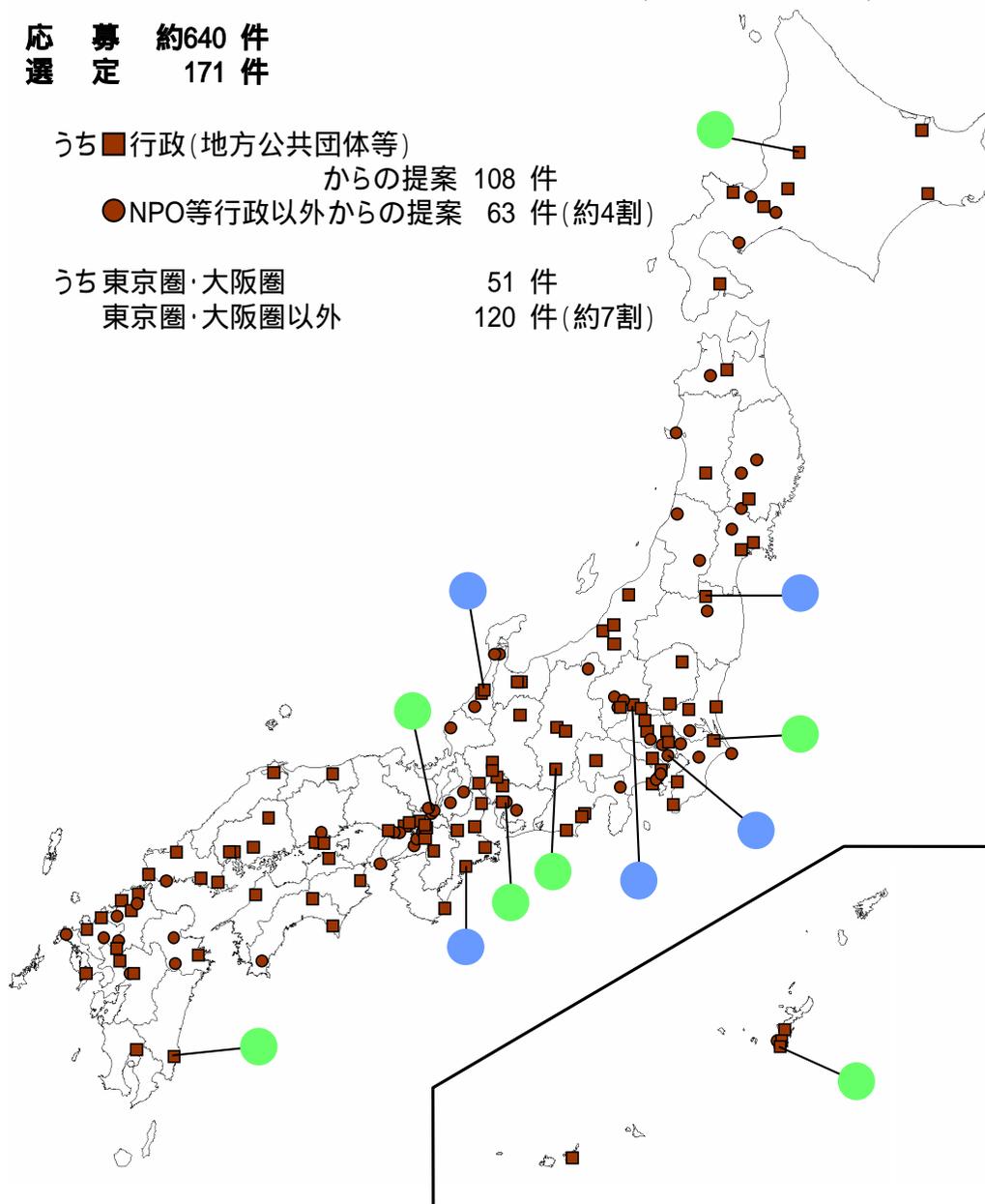
全国都市再生モデル調査

～ 地域が自ら考え自ら行動する都市再生活動を支援～
(平成15年度国費 10億円)

応募 約640 件
 選定 171 件

うち ■ 行政 (地方公共団体等) からの提案 108 件
 ● NPO等行政以外からの提案 63 件 (約4割)

うち 東京圏・大阪圏 51 件
 東京圏・大阪圏以外 120 件 (約7割)



地域の重い課題を受け止め、
閉塞感を打破

地域固有の資源を最大限に
活かし、新しいまちづくりを指向

(例) 疲弊している中心市街地の
空きビル・空き店舗活用戦略

福島市
 ・商工まちづくり部局、教育委員会、NPO等の連携により、大型空き店舗を小学生の体験学習の場(スチューデント・シティ)として整備

(例) 地域の有形・無形の資産を
新しい観光資源として再生

佐原市
 ・成田空港の世界でも有数の国際線乗継客等が待ち時間で古き良き日本を体験できる観光プログラムの開発

千代田区
 ・空きビルを、学生街という立地を活かし、少ない投資で学生向け賃貸住宅として再生

日南市
 ・歴史的運河と赤煉瓦街を活かした街並みの再生

金沢市
 ・空きビルの住宅転用と都心の魅力づくり施策の連携により、人口空洞化の回復

愛知県
 ・国際通用力のある産業施設(自動車・セラミックス等)の見学・体験など、経済界と地域の広域連携による産業観光

(例) 時代に合わなくなった
計画・構想の見直し

伊勢崎市
 ・歴史的たたずまいの市街地を分断する都市計画道路を現時点で見直し

(例) 環境共生、福祉、地域の産業基盤
などを核にしたまちづくり

滝川市
 ・難病児が豊かな自然等に触れ合える体験施設を核としたまちづくり

(例) 20世紀の負の遺産の早急な解消

三重県 紀伊長島町
 ・漁村の密集市街地において防火と津波対策を合わせた安全まちづくり

飯田市
 ・再生可能エネルギーの徹底利用等を通じた都市と環境の調和

京都市
 ・商店会、警察、道路管理者が協力し、目抜き通り(四条通)で歩行者優先の社会実験

那覇市
 ・琉球王朝時代以来の窯業中心地で、登り窯、伝統的家屋等を再生(「やちむんの里」)

具体的取組に見られる新しい特徴・潮流

- ・とにかく「やってみる」、
- ・行政がすべてを抱えるのではなく市民に投げかける、
- ・既存ストックを徹底活用 等

スチューデント・シティを契機としたまちづくり (福島市)

中心部の大型空き店舗を活用、これを小学生が社会や経済の仕組みを学ぶための架空の街（「スチューデント・シティ」）として整備

実施に当たっては、商工まちづくり部局、教育委員会等の行政、教育関係のNPO、地元の企業、大学等の協力連携体制を強化

スチューデント・シティを契機に、まちづくりの関係者が一致協力して、中心市街地を活性化

* スチューデント・シティでの教育は総合学習の時間を活用して実施の予定



また、隣接する広場での休日イベントの連続実施や、「駐車場の利用促進の社会実験」（買い物客など短時間の利用は無料）の実施とも連携

* 10月20日に、子供による実行委員会を立ち上げ



スチューデント・シティの実施事例

空き業務ビルの住宅等への用途転換

(千代田区、大阪市、金沢市等)

業務ビルの空室を、地域特性に応じ、少ない投資で学生向・家族向住宅、SOHO等の用途に転換

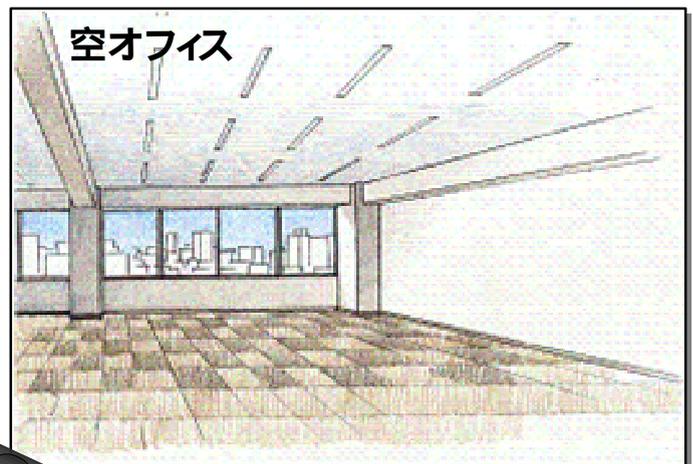
地方公共団体が中心となり、ビルオーナー・関連業界・大学等の地域関係者と連携をとってモデル的に展開

【業務ビルから住宅等への転用のイメージ】

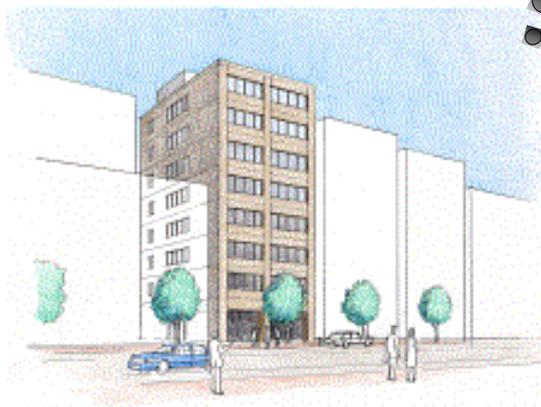
背景

- 都心部におけるオフィス空室率の上昇
- 人口の都心回帰傾向

- 住宅等への用途転換により、資産・資源の有効利用
- 短期間に低コストの新たな事業展開
- 人口回復による地域コミュニティの再生



改良



目抜き通りの歩行者優先社会実験（京都市四条通地区）

京都の最も重要な目抜き通り（四条通）で、京都市、京都府警、地元商店街組合等が連携協力して、歩行者優先の交通社会実験を実施

併せて、風格を感じさせる質の高い景観形成にも取り組むことにより、中心商店街を活性化



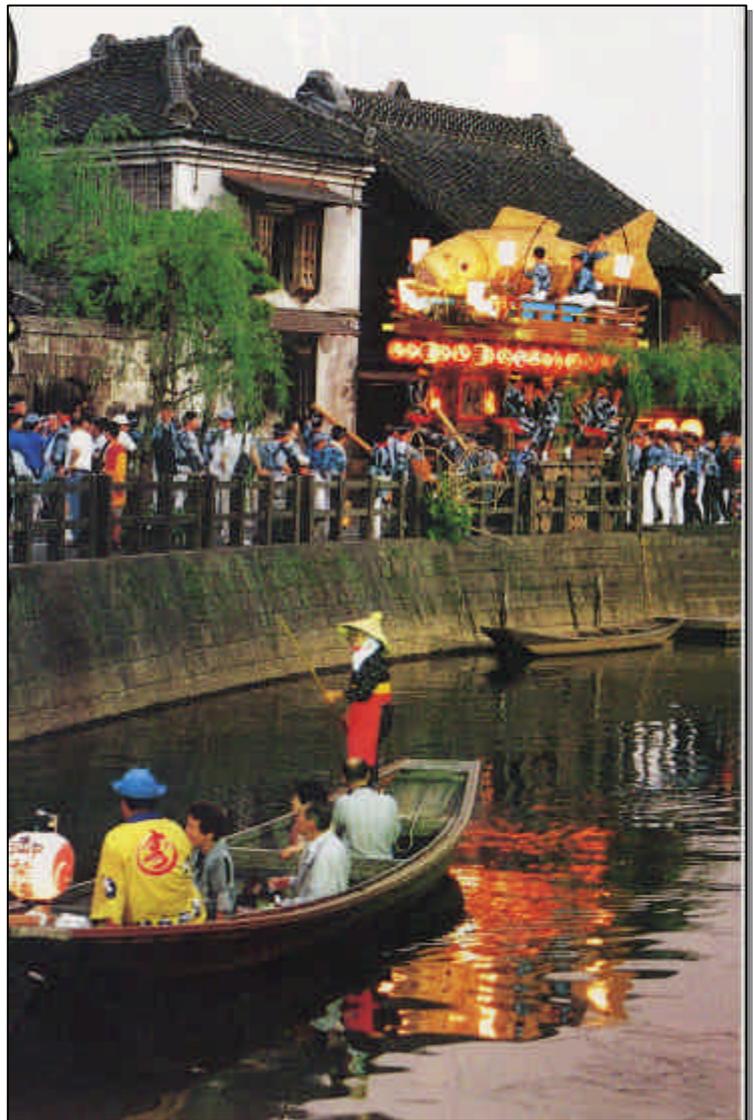
警察等の協力を得て、買い物客、観光客がゆったりと楽しめる21世紀の「四条大路」を体感する社会実験

成田空港乗継客を対象にした短時間旅行の実験 (佐原市)

成田空港の世界でも有数の国際線乗継客等を対象に、待ち時間で、「古き良き日本」を体験できる新たな観光プログラムの開発に着手

成田空港の国際線乗継客数は、アジア1位
(平成12年実績)
海外主要空港で積極的に実施されている、待ち時間を利用した空港周辺の小旅行のビジネスチャンスに着目

水郷の情緒と歴史的なまちなみ(国の重要伝統的建造物群保存地区に選定)を復活した舟運で体験



産業観光を通じたまちづくりの連携（愛知県）

国際通用力のある産業施設（自動車、セラミックス等）の見学、体験などを、地元経済界と地域間の広域連携によって、「産業観光」として展開

ハード面の整備に加え、教育関係者や旅行業者と連携し、将来のものづくり人材の教育や、外国人の観光需要の喚起を推進し、まちを活性化

自動車関係の産業施設の見学者は、年間53.3万人
（トヨタ博物館・会館、工場）



工場だけでも、見学者は、
年間13.4万人
うち外国人の見学者は、年
間1万7千人にのぼる



* 愛知県には、自動車関係の博物館・工場の他、陶磁器から最先端のセラミック製品まで展示した資料館、製作体験できる食器工場等がある